

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 獣医師確保修学資金貸与事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111 (内 2885)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 13,772 千円 (前年度予算額：13,772 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	13,772	0	0	0	0	0	0	0	13,772
要求額	13,772	0	0	0	0	0	0	0	13,772
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近年、産業動物獣医師の就業者数の低迷や地域の自衛防疫を担う指定獣医師の高齢化が進んでおり、地域において適正な獣医療の提供や自衛防疫を推進するためには、産業動物獣医師の確保が必要である。

また、全国的に獣医師の公務員志望が少ない傾向にあり、本県でも採用が計画どおり進まず、慢性的に不足している状況である。

(2) 事業内容

①修学資金貸与事業

(公社)岐阜県獣医師会による全国獣医系大学の獣医学生を対象とした、修学資金の貸与事業に対して助成する。

対 象 者：本県での産業動物獣医師の就業を希望する学生 (4,5,6年生対象)

岐阜県職員として獣医師の就業を希望する学生 (4,5,6年生対象)

貸与月額：国公立大学 10万円、私立大学 18万円

※卒業後一定期間、県内で就業することで返還を免除

②人材確保事業

獣医師バンクの運営により、獣医事に従事していない潜在的な獣医師の掘り起しを行い、産業動物獣医師への就業を促す。

県内産業動物獣医師として従事を希望する獣医師に対し、募集团体等の紹介を（公社）岐阜県獣医師会の協力のもと実施。

（3）県負担・補助率の考え方

①修学資金貸与事業

国と事業実施主体（岐阜県獣医師会）が1/2ずつ負担
（事業実施主体分を県負担10/10）

②人材確保事業

県負担10/10

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	13,772	獣医系大学生修学資金貸与事業、獣医師人材確保事業への助成
合計	13,772	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

「岐阜県における獣医療を提供する体制の整備を図るための計画」に基づき、産業動物獣医師の確保に努めている。

（2）事業主体及びその妥当性

- ・事業主体：公益社団法人岐阜県獣医師会
- ・事業主体の妥当性：県内の獣医師で組織し、獣医学術及び技術の振興・普及を図り、行政の補完的立場で獣医事指導の推進を行う県内唯一の機関。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	獣医師確保修学資金貸与事業費補助金
補助事業者（団体）	公益社団法人岐阜県獣医師会 （理由）県内の獣医師で組織し、獣医学術及び技術の振興・普及を図り、行政の補完的立場で獣医事指導の推進を行う県内唯一の機関
補助事業の概要	（目的）県内産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師を確保する。 （内容）本県での産業動物獣医師又は岐阜県職員獣医師として就業を希望する学生に対し修学資金を支給する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 （内容）10分の10以内 （理由）実施主体は収入基盤が脆弱であり、県畜産施策上必要な事業について必要な範囲内で補助が必要。
補助効果	不足する県内の産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師の確保
終期の設定	終期 令和4年度 （理由）終期到来時にその時の達成状況や社会情勢等を踏まえて、その後の方針を検討のうえ、継続や廃止等の判断をする。

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>「岐阜県における獣医療を提供する体制の整備を図るための計画」及び岐阜県職員定数に基づき、県内産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師を確保する。</p>
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H22年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① 県内の産業動物獣医師数	100人	100人	100人

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	3,240千円	3,030千円	7,238千円	(予算額) 13,772千円	(要求額) 13,772千円
指標①目標	100人	100人	100人	100人	100人
指標①実績	102人	101人	100人	(推計値) 100人	(推計値) 100人
指標①達成率	102%	101%	100%	(推計値) 100%	(推計値) 100%

(前年度の成果)

獣医系大学の学生5名へ修学資金を支給し、県内産業動物獣医師の確保を図った。

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
- ・ 産業動物獣医師の就業者数の低迷
- ・ 地域の自衛防疫を担う指定獣医師の高齢化と後継者不足
- ・ 県職獣医師選考試験の受験者数の低迷

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)
○ : 必要性が高い △ : 必要性が低い

(評価) ○ 産業動物獣医師の減少により、将来、地域において適正な獣医療の提供や自衛防疫が担保できない可能性があり、対策が必要である。

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
○ : 概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている
△ : まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価) ○ 補助事業の実施により、県内の産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師の確保につながった。

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)
○ : 効率化は図られている △ : 向上の余地がある

(評価) ○ 岐阜県獣医師会等関係団体と連携を密にして実施している。

(事業の見直し検討)

産業動物獣医師の高齢化が進んでおり、若手獣医師が不足している状況は継続していることから、引き続き事業の継続が必要である。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止
(理由)